

花巻市東和地域協議会
平成24年度第3回会議記録

日 時	平成24年11月27日(火) 14:00~16:30							
場 所	東和総合支所1階 第1会議室							
委 員 名	役職	氏名	出席	欠席	役職	氏名	出席	欠席
	委員	菊池 隆耕	○		委員	下坂 淳代		○
	委員	下林 郁男	○		委員	猿舘 祐子	○	
	委員	平野 保	○		委員	小田島 忍	○	
	委員	小原 宏	○		委員	日下明久美	○	
	委員	吉田 英雄	○		委員	晴山 准子	○	
	委員	赤坂 學	○		委員	川村 哲夫	○	
	委員	小川 洋征	○		委員	藤井 公博		○
出席職員	賢治まちづくり課 高橋久雄課長、粒針満上席主任、西村麻希(富士大生) 東和分署 山口新吉分署長 東和総合支所 赤坂謙支所長、市民サービス課 藤井正昭課長 地域振興課 多田潤課長、佐藤健係長、伊藤精一主査							

司会：多田課長

1 開 会 (司会)

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告

2 会長あいさつ (小原宏委員)

本日は、お忙しいところ、また初雪が降る中お集まりいただきましてありがとうございます。また、今日は自主活動といたしまして、賢治まちづくり課長さんをはじめ、東和の分署長さん、いろいろな方においでいただいて、勉強会をしようということでございます。平成24年の4月に賢治まちづくり課というのが新設されたわけでございますけど、この課はどういうふうな課なのかなということで皆様と勉強しようじゃないかということでございます。それから、ドクターヘリにつきましても、どういうふうになっているのかわからないということもございますので、この議題を取り上げたところでございます。各委員さんは各団体の皆様でございますので、それぞれの会員や集まりの方々に対しまして、お知らせ願えればなというふうに思うところでございます。今日は勉強会ということで結論は出ませんのでよろしくお願い申し上げます。

※ 地域振興課長が、本庁から出席した賢治まちづくり課及び東和分署の職員を紹介

3 自主活動

小原宏会長

それでは、早速自主活動の勉強会に入りたいと思いますが、賢治まちづくり課の業務内容について、課長さんどうぞよろしく願いいたします。

高橋賢治まちづくり課長

(資料『「賢治さんの香りあふれるまち」の実現を目指して』について説明)

小原宏会長

課長さんにはありがとうございました。皆様の方からこれはどういうことなんだなということ等、ご意見など発言してもらえればと思うところでございます。

川村哲夫委員

大迫は、大迫でだいぶ活躍されておりますし、石鳥谷も、活躍しているんですが、東和は、ちょっとそんな感じが無いのは残念に思ひまして、東和の方から何かそういうことができないのかなと思って、実は今回の委員会の方に応募してですね、入会したような状態ですので、東和で今問題になっておりますのは、ここにもちょっとありますけど、牧場、五輪峠ですね。それから丹内山神社はご存知かと思ひますけど、あそこに行ってみますと、誰も管理してない状態なもんですからですね、丹内山神社は、歴史もあるいろいろな興味もあるところなので、東和からも、ちょうど課長さんがおっしゃったような状況ですので、何とか取り上げてですね、やってみてはどうかなと思っております。

小原宏会長

賢治のひろばと新花巻駅の前で、鹿踊りが土日に開催されているのかな。私の地域の(金津流)獅子躍りも出るわけでございますが、もう少し宣伝が足りないのかなと思われるのは、賢治のひろばにあまり人が来ないんですね。新花巻駅であれば、電車から降りた人に合わせて時間にありますけど、賢治のひろばでは、なかなかあんまり人が来ないので、さみしく踊ってくるので、もう少し何とかならないものかというのを感じております。祭日の一は、丹内山神社の二の鳥居の下の方に展示してありますし、小原昇先生という方がおりまして、その方が石碑を立てたりして、いろいろなかわりがあるわけでございますけど、そのことについてもあまり地元の人でさえもわけがわからないというのが実態です。

赤坂學委員

通称賢治課というものを立ち上げて、その前と課が出来てからの内容というのは随分違うと思うんですけど、何か内容を私たちに話して聞かせることがあれば、お願いしたいと思ひます。

高橋賢治まちづくり課長

前と後で何が違うかというですね、課の名前自体が、賢治という冠を付けたことによって、4月冒頭はNHKさんから取材もありました。そういう形で全国各地からこの課の名前が注目を受けたということで、ひとつの知名度が上がったのかなと。それによって、窓口が

一本化したことによって、結構問い合わせが来ます。そこが一番変わっているのかなと思っております。市民に直接何が変わったかという、これからかなという感じがしております。ですから、一番理解をいただくような情報発信というものに力を入れて、賢治カレンダーを皆さんにお配りできるような形をとっていきたいと思います。

赤坂學委員

交流人口の増加を目標にしているようでございますけど、宮沢賢治の関係ばかりでなく、萬鉄五郎とか、高村光太郎とか、新渡戸稲造とかいろいろ偉人が出ているわけでございますけど、PRの仕方を賢治ばかりでなく、総合的に持って行った方がもっと盛り上がるのではなからうか。あとは、もっと魅力のある花巻市にさせていただきたいのがあるわけでございます。

高橋賢治まちづくり課長

決して花巻市が、この方々を脇に置いてということではありません。対外的に、何が一番強いのかという柱を賢治に置いているということだけでありまして、当然そこには、今おっしゃった偉人もあれば、祭りもあれば、農産物もあります。たくさんものがありますので、柱を何で発信をし、当然そこにはいろんなものが付いてきます。決して賢治だけではないということだけはご理解をいただきたいなと思います。まちづくりも当然、賢治のまちづくりというのは、私のところで柱としてやりますが、決してだから萬の記念館がどうでもいいとか、そんなことはないということでございます。そういうものもきっちり守りつつ、やっていかなければ、やはり花巻というのは、十万都市であれ、観光都市であれ、穀倉地帯であれ、そういうもののPRもできない。そのところは重々理解しつつ、職員にも言いつつ進めていければなと思っております。

小原宏会長

賢治の会が、東和には無いんだということでございます、川村さんはそれを憂いておられまして、これらにつきましては、東和で賢治の会が必要であるのであれば、賢治まちづくり課さんの強力なリーダーシップのもとに、賢治ゆかりの方をまとめて、その方々を中心にしたつくり方も必要ではないのかなというふうに思います。

賢治まちづくり課の業務内容についての自主活動について、これで終了したいと思えます。課長さんありがとうございました。ここで休憩いたします。

<休 憩>

小原宏会長

今日はお忙しいところ、東和の分署長さんにおいでいただいておりますので、ドクターヘリについて勉強したいなというふうに思います。ドクターヘリとは一体何ぞやということでございますし、あまり皆さんも詳しくないだろうということで、このことについて取り上げてまいりたいと思えます。それでは、ドクターヘリについて分署長さんよろしく願いいた

します。

山口新吉分署長

(資料「岩手県ドクターヘリ」について説明)

小原宏会長

せっかく署長さんがおいでになっておりますので、どなたかご質問等ございましたらお願いしたいのですが。

小田島忍委員

県境といいますか、青森と岩手とのドクターヘリの連絡というのは、検討はなっているのでしょうか。たとえば、青森が近かったら青森の方が出てくるという格好になっているのですか。

山口新吉分署長

防災ヘリと同じように出動要請があれば来ます。応援協定がございます。

赤坂學委員

中央病院にも、ランデブーポイントがあるのですか。

山口新吉分署長

中央病院には無いんじゃないですか。近くのランデブーポイントに行って、あとは救急車で搬送するということになると思います。ただし、医師が病院を指示するのだから、その負傷者に合った病院を探して連絡する。ドクターヘリがこの病院には行かないということはありません。

平野保委員

同じようなことなのかもしれないが、搬送先医療機関がいくつか並んでいて、岩手医大51回、県立中央病院23回とありますが、これは降りるポイントがどこかにあって、そこから運ぶということですか。

山口新吉分署長

(ポイントがどこにあるか) わかりませんね。

小川洋征委員

岩手医大の場合は、県警のヘリポートを使うと思いますよ。

山口新吉分署長

ドクターヘリは、ランデブーポイントというのは決まっておりますけど、降りれる範囲の

ところに降りれるということです。あくまでもパイロットの判断で着陸するということです。

赤坂學委員

高速道路の東和分署の範囲はどうなっていますか。

山口新吉分署長

下り線は、宮守インターまで。上り線は、東和インターから花巻方面。ただ、江刺田瀬インターが金ヶ崎の管轄になっているんですよ。だからあそこで119番をかければ、金ヶ崎から花巻に来てインターに来ます。

日下明久美委員

要請回数及び運行回数のところに、不対応というのが15回ありまして、その中で時間外6回とありますが、ドクターヘリが運行する時間というのは何時から何時までなのでしょうか。

山口新吉分署長

有視界飛行ということでありますので、日の出から日没までです。通常言われているのは、日の出の30分前、日没の30分後ということです。

日下明久美委員

冬になると、早くもうだめになるということですね。

猿舘祐子委員

事故現場の負傷者の方を一旦ヘリまで連れてくる人というのは、どういう人たちなんですか。

山口新吉分署長

これは、消防隊が行くまで待っているしかないですね。

猿舘祐子委員

ドクターヘリだけでなく、救急車もその現場に行くということですね。

山口新吉分署長

必ず、消防隊は接触しますので、できるだけドクターヘリよりも早く行きたいんです。山岳救助、例えば早池峰山の場合、大迫の防災ヘリのランデブーポイントは、大迫野球場なんです。防災ヘリで早池峰山から引き上げて、大迫の野球場の駐車場に降ろして飛び上がって、今度はドクターヘリが降りて、負傷者を乗せていかなければなりません。

小原宏会長

まだまだお聞きしたいことがあるかとは思いますが、開始から2時間以上過ぎておりますので、これで閉めたいと思っておりますがよろしゅうございますか。分署長さんにおかれましては、忙しい中お出でいただきありがとうございます。それでは、(3)のコミュニティ会議との懇談会のテーマについて、自主活動の議題としたいと思っておりますが、これにつきまして事務局からあればよろしくお願いたします。

多田地域振興課長

あらかじめ、皆さんからどういうテーマでコミュニティ会議の代表者の方々と懇談したら良いでしょうか、ということでアンケートを取りました結果がこの3項目(資料「コミュニティ会議との懇談会のテーマについて」)です。小学校の跡地利用とコミュニティ会議の重要課題はなんだろうかということで、これからコミュニティ会議に呼びかける際にですね、何もテーマなしで呼びかけるのもなんですので、なんとかこれを進めてほしいなと思ひまして、今日は参加いたしましたので、皆さんのお知恵を出し合っただければなと思ひます。

平野保委員

合併後、各種団体の状況はどうなっているか関心のあるところでございます。

小川洋征委員

もしやるのであれば、各コミュニティ会議からの課題を、なんと申しますか、言い放しだけであれば一回ぐらやってもいいのかな。ただ、改善に向かうためには5年10年というロングランが必要であると思ひますので、もし、課題を行政当局に認識してもらうためだけだったならば、課題と討論しあうことも結構だと思ひますけど、結論が出なければやる必要はないのかなと思ひます。

小原宏会長

それでは、意見を出していただいております下林委員さんどうでしょうか。

下林郁男委員

小学校が統合になって1年半過ぎたということで、各地域でですね、跡地活用というのはどのような状況になっているか、というのを一つ知りたいなということでですね、決まっている地域、まだこれからという地域とあるようですが、地域の皆さんが跡地活用に対して考えを持っているかというのを聞きたくて、ちょっと書いてみたところでございます。

吉田英雄副会長

今、各6校あるわけですから、利活用についていろいろ決まっていることもあると思ひますので、当然取り壊しするところもあるでしょうし、再利用するところもあるでしょうし、これは私も知っておくべきだろうと思ひるので、課題を出してみたわけです。地域協議会というのは地域課題を解決する団体ではないので、共通認識を持ちながら、地域課題を掘り起こしていこうと思ひます。そういう意味で、私は学校跡地の問題と、(コミュニティ会議

の) 重要課題ということで書きました。よろしく願いいたします。

菊池隆耕委員

地域のそれぞれの課題を共有するという部分では、懇談というのはあってもいいのではないですか。

赤坂學委員

跡地活用については、一つの課題だろうと考えております。

小原宏会長

このテーマに限らず、地域協議会としてコミュニティ会議との接点はいかにあるべきかということまで含めて、よろしく願いいたしたいと思います。

小田島忍委員

懇談で結論を出さないにしても、やるというのであれば、勉強会のような格好で情報を共有するという立場でやったほうがいいのではないかと思います。

日下明久美委員

各振興センターごとにいろいろ話し合っていることなんじゃあないかなと思うので、その上で必要があるかどうか、必要性を感じないところはあります。

川村哲夫委員

コミュニティでいろいろなことがあるところに、何か一つまとまって、それを集約してですねやっていくこともあれば、それは非常に効果があるのではないかと思います。

小原宏会長

皆さんからご意見をお聞きしたところでございますが、やったほうがいいんじゃないかというご意見の方と、あまり結論が出ないのであれば、やめたほうがいいんじゃないかというふうな話も出てきているわけです。前回の時に、コミュニティ会議との懇談をしたらいいんじゃないのかという話が出ておりますので、これを踏襲したいなと会長として考えますが、テーマにつきましてはこのくらいしか出てないわけですが、テーマにつきましては、また皆様からお話を文章なりでお聞きをして、それでどういうふうにしていくかということについては、会長と副会長に任せていただけないでしょうか。そのようなことで進めてよろしゅうございますか。

委員一同

はい。

小原宏会長

事務局とも相談していきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいなと思って
おります。自主活動につきましては、終わりにしたいなというふうに思ひます。

4 その他

多田地域振興課長

その他ということで項目を設けておりましたが、どなたかあればですが、よろしいでし
うか。

5 閉 会（司会）